

松原介護者家族の会だより

発行 松原介護者家族の会

松原市天美北6丁目446-5

NPO法人介護支援の会松原ファミリー内

TEL 072-332-3226



榎尾弘子画

= 介護の悩み、苦しみを互いに話し合い、
教えあい、励ましあいませんか? =

◇◇◇若年性認知症講座◇◇◇



『若年性認知症とは、その支援について』に参加しました

講師：沖田 裕子氏

NPO法人「認知症の人とみんなのサポートセンター」代表

2019年1月26日（土）「まつばらテラス(輝)」にて、認知症サポートプロジェクト主催の講座に参加しました。

全国では発症者数が4万人近くになると言われる「若年性認知症」について、当日の資料の中から一部抜粋して掲載させていただきます。

1、若年性認知症とは？

- ・18歳～64歳までに認知症を発症した場合に若年性認知症といえます
- ・その原因疾患によって支援の方向性も多少異なります

高齢者の認知症とどこが違うの？

- ・若年性認知症は働き盛りの世代にも
- ・本人だけでなく、家族の生活への影響が高齢者に比べて大きい
- ・本人や家族に様々な支援が必要です

2、若年性認知症の有病率の推計

- ・18歳～64歳人口における人口10万人当たり若年性認知症者数は、47.6人
- ・全国における若年性認知症者数は3.78万人
- ・推定発症年齢の平均は、51.3±9.6歳
- ・介護家族の約6割が抑うつ状態
- ・発症後7割が収入が減った
- ・若年性認知症に特化した福祉サービスの充実

(H21年3月厚生労働省発表「若年性認知症の実態と対応の基盤整理に関する研究」より)

3、まだ診断を受けていない方を支援する場合

◎こんな症状はありませんか？ このようなサインは認知症の可能性が 있습니다。

【仕事や生活の場面での変化】

- スケジュール管理が適切にできない
- 仕事でミスが目立つ
- 複数の作業を同時並行で行えない
- 段取りが悪くなり、作業効率が低下する
- 取引先との書類を忘れる等、物忘れに起因するトラブル
- 物をさがしていることが多くなる
- 降りる駅を間違える
- 服の組み合わせがおかしくなる
- 家族との会話の中の意味を取り違えて険悪になる
- お金を無計画に使うようになる

【鬱や体調不良と

とられがちな症状】

- 夜眠れない
- やる気が出ない
- 自信がない
- 運転が慎重になった
- 趣味への関心が薄れた
- 頭痛、耳鳴り、めまい
- イライラする
- 考えがまとまらない

初期には、もの忘れがほとんど目立たない場合があります

◎どこに受診すればよいでしょう？

- ・かかりつけ医の先生から、認知症の専門医を紹介していただきますよう
- ・「もの忘れ外来」を標ぼうしている医療機関
- ・精神科や神経内科など
- ・認知症疾患医療センター



4、早期受診・診断日が重要になります

- ・働いている時に診断があると
- ・診断から半年→精神障害保健福祉手帳申請
- ・診断から1年半→障害年金申請
- ・退職時に、障害者手帳を取得していれば
- ・→雇用保険の給付日数+α
- ・初期に自分で決断 仕事・車・財産管理等

5、若年性認知症への支援

- ① 診断（できれば働いているときに）
- ② 就労支援
- ③ 社会参加の場作り
- ④ 社会参加やサービス利用へのコーディネート(本人・家族の心の整理)
- ⑤ 経済的支援
- ⑥ 障害福祉制度による支援
- ⑦ 医療保険による支援
- ⑧ 介護保険による支援
- ⑨ 成年後見制度の利用

**【松原市認知症初期集中支援チーム
(オレンジまつばら)が早期診断・対応を
サポート】**

松原市の相談窓口

国道309号より東側にお住いの人
●松原市地域包括支援センター社会福祉協議会
☎ 072-349-2112

国道309号より西側にお住いの人
●松原市地域包括支援センター徳洲会
☎ 072-334-3439

●松原市高齢介護課 ☎ 072-337-3113



家族の会は「認知症サポートプロジェクト」チームの一団体として 今年も『一人歩き声掛け（徘徊）模擬訓練』に参加しました。

講師：吉田 洋司氏

グループホームいこいおりおの館 館長大阪市認知症介護指導者

3月3日（日）「上田第一会館」にて、認知症サポートプロジェクト主催の
『認知症高齢者 一人歩き声掛け（徘徊）模擬訓練』

～認知症になっても 安心して暮らせるまちづくりのために～が開催されました。

認知症高齢者の一人歩き（徘徊）という行動を理解し、困っているとき、徘徊を目前にしている時に、どのように対応し、安全に見守られるまちを地域の方と創っていきけるのか？先生の講演を聴き寸劇を観た事から認知症の知識やご本人の心理状態・対応の仕方等も理解でき、その後に声掛け模擬訓練に参加した事で「良い経験になった」「今後に生かせる事が出来る」等々の感想を聞く事が出来ました。

『認知症フレンドリー社会』（超高齢者社会を迎えるにあたり、医療や介護の枠組みの中だけで考えるのではなく、社会が新しい就労の形や、ともに生活するよりよい未来を創りあげていく考え方）を目指す中、先生が話された「日本の古くからある“隣組制度”“向こう三軒両隣、少し懐かしいコミュニティー”精神で一步を踏み出すことで『安心して暮らせる地域』に生まれ変わります」…の言葉が印象的でした。



「第32回総会のご案内」



平素は「松原介護者家族の会」へのご協力ありがとうございます。
さて「第32回総会」を開催いたしますのでご案内いたします。
総会後は交流会も予定していますので、会員の皆さん是非ご出席くださいますように。

- ・ 日 時 5月14日(火) 総 会 午後1時30分～2時
交流会 午後2時10分～3時
- ・ 場 所 ゆめニティまつばら 3階 多目的ホール

お手数ですが4月27日(土)までに同封のはがきにて
出欠のご返事をよろしく願いたします。



「忘年会報告」

昨年12月5日(水)「すし半」にて毎年恒例の忘年会を開き、20名の方が参加されました。先ずは山本会長から「当会が大阪府知事の表彰を受けました」との報告があり今後も介護家族の方々に寄り添えるように頑張っていきたいと決意を新たに、楽しい食事タイムが始まりました。「お元気に過ごされていますか？」の会話で始まり近況報告や介護の様子等を話されていました。又初めて参加された方々も時間が経つにつれて周りの方々と打ち解けてこられた様子で日々の色んな話をされていました。そして食事が終わると恒例になっているプレゼントタイムが始まりました。くじを引く度に歓声上がる中で皆さん当たったプレゼントに一喜一憂され、美味しい食事とおしゃべりで楽しい2時間を過ごしていただきました。



松原介護者家族の会 『知事表彰受賞』

『平成30年度 大阪府社会福祉大会』

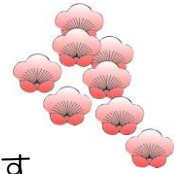
～福祉と共生のまちづくりをめざして～

松原介護者家族の会は、平成30年11月30日(金)大阪国際交流センターにて『平成30年度大阪府社会福祉大会』での【大阪府社会福祉ボランティア知事表彰 グループ・団体の部】で知事表彰を受賞いたしました。

1988年(昭和63年)、寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族を中心に家族の会が発足して30年が過ぎました。今回の受賞を節目として新たな気持ちで、今後も引き続き福祉の向上を願い、内外の様々な活動をしてまいりたいと思います。



☆☆定例交流会報告☆☆



定例交流会は毎月第1水曜日に介護中の方や看取った方が集まり開催しています。親しい友人のお部屋にお邪魔しているような、ゆったりとした雰囲気の中で日頃の介護の悩み、経験などを語り、情報交換などもしています。長く続く介護の日々を自身の健康のためにも、わかり合える仲間達と語り合って明日への力とつなげて頂けたら嬉しいです。

11月 17名参加

- ※ 94歳の実母様（療養型病院に入所中）の息子さんは「母は最近物忘れも多くなり30分前の事も忘れるようになった。私が帰る時に『何食べた?』と必ず聞くようにしているが『高野豆腐、お饅頭』等と言われるのが名残惜しそうに感じる」と話されていました。
- ※ 76歳の御主人を介護中の奥様は「主人は1人で出かけるが財布をよくなくすので困ります。認知症薬を服用して1年経ったが症状あまり変わらない。ただ安心感から飲み続けてもらっています」と話されていました。
- ※ 94歳の実母様（1か月前に施設に入所）の息子さんは「大阪の兄に変わって、母の介護をして1年。色々な事が勉強になりました。母は幸いにも施設になじみ、後は兄に託し私も安心して札幌の自宅に帰りますが、これからはなかなか母に会えなくなりました」と話されていました。
- ※ 久しぶりに参加された方からは、ある日御主人の異変に気づき救急車で病院に搬送したものの1週間後に看取られた事を報告に来られました。

12月 「忘年会」 P4に記載



1月 12名参加

- ※ ご主人は家業のお仕事を続けられている事でお金に対し執着心がおありですが、財布の紛失がたび重なる等の変化が見られ、お金に対しての被害妄想もあり『お前がとったんやろ!』と疑われ奥様はストレスがたまり大変ですと話されていました。デイサービスの利用もなかなか受け入れてもらえないそうで、信頼している主治医の先生から勧めてもらっては…とのアドバイスがありました。
- ※ 久しぶりに参加された方からは90歳の実母様が亡くなられた…と報告に来られました。「母は昨年の5月に亡くなりましたが母の死が信じられませんでした。ただ、母は病院ではなく施設での看取りが出来、その点は良かったと思っています。実母は義母（103歳）と同じ施設に入所していて大変な時期もあり、更に主人が骨折して入院し退院後は私が入浴や歩行の介助もしましたので本当に大変でした」と話されていました。
- ※ 実母様を看取られた後、1人暮らしの76歳の男性は「私には姉がいますが、自分自身の事がマイナス思考になり、体調が悪くなった時の事ばかりを考えてしまいます。ただ、テラスにも行き歌を唄ったりして楽しい時を過ごす時もあります」と話されていました。

2月 11名参加

- ※ 95歳の実母様の入所先に息子さんが行くと、昼夜逆転し食事を食べたのに私の顔を見ると『食べてない!』と言われるそうです。その為、食事の量も減っているので好きなものを食べさせたい…と本当は持ち込み禁止なのですが大目にみてもらい母の好きな物を持って行くと『規則は規則です』と言われる事もあるそうです。それを聞いて「気持ちは分かりますが、施設での主副食の摂取量、を聞き栄養過多にならないか改めて相談されてはどうですか?」とのアドバイスがありました。
- ※ 69歳の若年性認知症の奥様（施設入所中）を介護中の御主人は、症状の進行が早い為、年々変わって行かれる奥様の事をとて心配しておられました。

訃 報

平成30年 5月27日 磯田 テル子さん 90歳 (村井 真弓さん 実母)
平成30年 10月 3日 生越 佳男さん 77歳 (生越 サダエさん 夫)
平成31年 2月 6日 門馬 悦子さん 69歳 (門馬 芳雄さん 妻)
平成31年 2月16日 村井 スギさん 103歳 (村井 真弓さん 義母)
がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。
介護されたご家族の皆様、お疲れ様でした。



∞ 定例交流会のご案内 ∞

場 所 : 「まつばらテラス (輝)」2F 会議室3
松原市民体育館 北側

4月 3日 (水) 13時~15時
5月 8日 (水) 13時~15時 (連休につき、第2週目)
6月 5日 (水) 13時~15時
7月 3日 (水) 13時~15時
8月 7日 (水) 13時~15時



参加費 : 無 料

介護の苦勞の共有や情報の交換の場です。
どなたでもお気軽にご参加ください。

★★お問合せ★★

家族の会事務局 TEL 332-3226



あなたも「家族の会」の仲間になりませんか！

ひとりで悩まないで！ きっと仲間が見つかります。



* 定例交流会 「まつばらテラス (輝)」2F 会議室3 (松原市民体育館北側)
少しでもよりよい介護が出来るよう、会員が集まって、日頃の介護の
悩みや体験談を語り合う介護者交流会を毎月開催しています。

* 介護でお悩みの方を紹介して下さい。

* ご入会お待ちしております。

・会 員・・・寝たきりや認知症など、ご家族を介護している方や介護を
してきた方。

・賛助会員・・・会の趣旨をご理解・ご賛同して下さる方や団体。

多 員 ・ 賛 助 会 員
募 集 中 で す

年 会 費 2,000円 (会報や家族会の行事の案内をお送りします)

お問合せ 松原介護者家族の会 事務局 Tel 332-3226